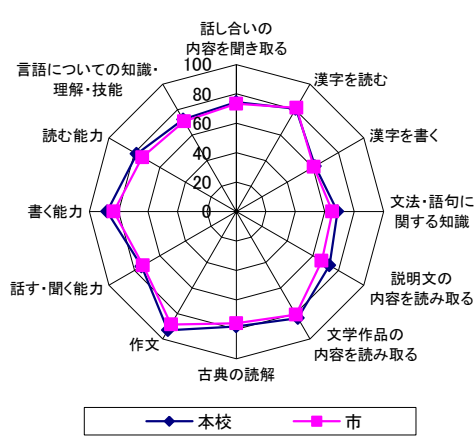


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	74.5	73.3
	漢字を読む	80.6	81.5
	漢字を書く	61.7	60.6
	文法・語句に関する知識	68.6	65.2
	説明文の内容を読み取る	72.9	66.9
	文学作品の内容を読み取る	83.5	80.9
	古典の読解	78.0	76.0
	作文	93.0	88.6
	話す・聞く能力	74.5	73.3
観点別	書く能力	87.8	83.4
	読む能力	78.2	73.9
	言語についての知識・理解・技能	72.3	70.9



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	本校の正答率が、宇都宮市の正答率を1.2ポイント上回る結果となった。 「聞き手に理解してもらえるための話し方の工夫を聞き取ることができる。」という項目の正答率は3ポイントほど低いが、「話し手の意見に対して自分の考えを持ち、質問することができる。」という項目は5ポイントほど高い結果であった。	スピーチ・ディスカッションの学習材を通して、聞き手の立場や状況を意識した話し方の工夫や説明の仕方の工夫について、継続的に指導する。
漢字	「漢字を読む」という項目は、市の平均を0.9ポイント下回った。 「漢字を書く」という項目は1.1ポイント上回った。	教科書教材を丁寧に音読する活動を継続的に取り組む。また、小学校での既習漢字を、計画的な小テストを実施するなどして習得させる。
文法・語句に関する知識	宇都宮市の正答率を3.4ポイント上回った。特に「用言の活用」については、10ポイント程度上回る結果であった。 「敬語」については、市の正答率と同程度であった。	文法事項の繰り返し学習を心がけた指導を行う。また、文法ワークなどを活用して、数多くの問題に取り組ませる。 日常生活の中での言語活動を大切にしながら、敬語についての知識や理解を深めさせ、習得させる。
説明文の内容を読み取る	宇都宮市の正答率を6ポイント上回った。「文章の展開に即して内容をとらえる。」・「文章の構成や展開をとらえる。」という項目は5ポイントほど高く、「文章の内容をとらえて具体的な事例に当てはめる。」という項目は9ポイント上回った。	説明的文章を読み取る授業においては、今後も、文脈に即して要点・要旨を押さえる指導を行う。その際、段落の役割や指示語を意識させたり、事実・具体例と意見・主張を区別したりする力を育てさせる。
文学作品の内容を読み取る	宇都宮市の正答率を2.6ポイント上回っている。ただ、「登場人物の心情や心情の変化、状況」を読み取る4つ設問のうち、1問だけ1.4ポイント下回った。	国語の授業に限らず、朝の読書活動などを生かして、文学作品へ親しませたり、作品の主題を考えさせたりさせる。 登場人物の心情を表現している言葉に着目させて、考えや気持ちを読み取らせる指導を心がける。
古典の読解	宇都宮市の正答率を2ポイント上回った。「歴史的仮名遣いの理解」に関しては4ポイントほど上回っている。ただ、文章の内容をとらえる設問2題のうち、1題は1.6ポイント下回った。	引き続き、古文特有の表現やリズムなどは、音読を大切に学習活動を通して高めていく。 係り結びの法則や古語の理解を深めさせ、内容の把握や書き手の意図を読み取らせる指導をする。
作文	宇都宮市の正答率を4.4ポイント上回った。質問項目5題のすべてで4ポイントほど上回っているが、書くことを面倒に感じていたり、苦手意識を持っていたりする生徒は多い。	引き続き、意識して機会を設定し、短作文の指導等を繰り返しながら、書くことへの抵抗感を無くしていく。 自分の立場を明確にした意見文を、確かな根拠を基に書ける力を身につけさせる。